

【海外拠点】 山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】 TTB 銀行(タイ・バンコク)、HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)



【大連支店】

中国の世代別の特徴について

1. はじめに

中国は急速な経済成長やテクノロジーの進化により、異なる世代間には文化的・社会的な特徴が存在しています。家族構成も政治や経済情勢の影響により様変わりし、結婚観や友達観も時代と共に変容し、購買スタイルも異なります。世代間の違いを理解することは、中国社会の現状を深く知り、中国市場を攻略する上で重要です。今回は中国社会の世代別の特徴を調べてみました。

2. 中華人民共和国成立前世代（1949年以前の生まれ）

この世代は中華人民共和国の成立以前の時代を経験しました。彼らは社会主義体制の変革に立ち会い、文化大革命の影響を受け、政治的な動乱や経済的な困難を経験しました。この世代の特徴の一つとして、伝統的な家族価値観が強く、結婚は社会的な義務ととらえられていました。結婚は縁談が一般的であり、親の意向や家族の地位が結婚の決定に影響を与えました。共同体の結びつきが強く、労働集約的な経済を支えた彼らにとって友情は信頼と協力の象徴とされ、友人は助け合う存在として重要視されています。

この世代は経済的安定や社会的地位の追求よりも国家の利益が重視されます。資源の制約や経済的な困難を経験した影響で購買行動は必需品を中心に行われ、節約と質素さが重視されています。物質的な所有よりも生活の安定が重要視されています。

3. 改革開放世代（1950年代～1970年代生まれ）

この世代は中国の経済改革と開放政策を経験しました。彼らは社会主義市場経済の台頭とともに、急速な都市化と産業化の進展を目撃しました。また、高等教育の普及もこの時期に顕著であり、一部の人々は海外留学の機会を得ました。

この世代は結婚において個人の意志や感情を重要視するようになり、経済的な安定や自己実現の追求が結婚の動機とされ、恋愛結婚の割合が増加しました。この世代から個人主義が顕著になり、友達選びにおいても自己の興味や価値観を重視します。友情は相互の利益や交流に基づいて形成され、ビジネスやキャリアの面でも重要な役割を果たすようになりました。

経済改革の進展により個人のキャリアや経済的成功を追求する姿勢が強まり、努力によ

る自己実現やキャリアアップが重要視され、競争の激しい環境での成功が求められました。この世代は消費意欲も旺盛で、国内外の商品に個人でアクセスし、ブランド品や高級品の購入を重視します。

4. 一人っ子世代（1980年代生まれ）

この世代は中国の一人っ子政策の下で育ちました。彼らは家庭の期待が高く、「小皇帝」と呼ばれる程、寵愛される家庭環境で育ち、わがままに育っている傾向があります。

幼少の頃から高度な競争社会を過ごしてきた彼らは、教育とキャリアに重点を置く傾向があります。この世代は結婚において経済的な面が重要視される傾向があります。高い教育レベルや職業の安定を求めるため、パートナーの社会的地位や経済力が結婚の選択に影響を与えることがあります。経済的な安定やキャリアの追求を重視するあまり、友達との交流が限られることがあり、一方で、親しい友人との関係を大切にし、共感や支援を求める姿勢が見られます。

この世代は高い教育レベルを持ち、専門知識やスキルを活かすことを重視します。安定した職業と経済的な安定を求める一方で、ワークライフバランスも重視します。教育の普及とともに所得水準が上昇し、個人の好みやライフスタイルを反映した商品を選ぶ傾向が強まり、質の高い消費や個性的なアイテムが人気です。

子供の教育に時間とお金を惜しまないのも特徴です。給与の大半を子供の教育に充て、週末は子供の課外教室の送り迎えを行うというのが子供を持つ家庭の一般的なライフスタイルのようです。

5. インターネット世代（1990年代生まれ）

この世代はインターネットの急速な普及によりデジタルテクノロジーとソーシャルメディア（SNS）の影響を受けて育っています。情報へのアクセスが容易で、国際的な視野を持つ人々が多いようです。恋愛や結婚においては個人の幸福感や感情的な満足度を重視し、パートナーとのコミュニケーションに重きを置いています。その為、教育費のかかる子供を持つよりも二人の充実した生活を送りたいと考え、生涯、子供を持たない選択をするカップルもいます。一方、この世代は離婚率がとても高く、3組に1組は離婚していると言われています。その為、中国では2020年より離婚は申請してから1か月以内ならば取りやめることができる“クールダウン期間”が制度として設けられています。

SNSの普及により、オンライン上での友達関係を築いているのも特徴です。多様な人々とつながることが可能となり、仮想的な友情も重視されるようになりました。

6. ミレニウム世代（2000年代生まれ）

この世代は急速な変化の中で育ち、多様な文化的な影響を受けています。彼らはグロー



日本の人気アニメ「スラムダンク」はこの世代にファンが多い。

バル化された世界で育ち、外国語の習得や国際交流に興味を持つ人々が増えています。SNSの普及により、ファッショントレンドやインフルエンサーの影響を受けやすく、手軽なオンラインショッピングを利用しています。日本人女性のように日常的に化粧を行う女性が増え、コンタクトレンズの利用者も多いです。自撮り写真は必ず「美顔」機能のアプリを利用して撮影し、写真はSNSにアップします。この世代は自己主張が強い人が多い印象です。一方、この世代の高い失業率が話題となっています。2023年第一四半期の全国平均の失業率は5.5%であるのに対し、16~24歳の失業率は18.3%となっています。一部の若者は自宅等で暮らし職探しすらしない「寝そべり族」が横行していると言われ、社会問題となっています。

7. 終わりに

これらはいくまで一般的な傾向であり、個々の性格や嗜好は異なることに留意する必要がありますが、世代別の特徴は日本と同様に顕著で、均一ではありません。

中国市場はこのような世代間の違いに加えて変化のスピードが日本の比ではなく速いという特性があります。現在、特に顕著なのが自動車産業で、電気自動車がここ数年で急速に普及しており、日本車が売れない状況となっています。

中国市場は年々攻略が難しくなっていますが、一方で特徴にフォーカスを当てたマーケティングを施せば、攻略も可能な市場であると言えます。

山口フィナンシャルグループでは海外への事業展開にご興味があるお客様のサポートを行っております。お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせください。

(山口銀行大連支店 田村 卓也)

【参考文献】

- ・ 袁静 著：中国「草食セレブ」はなぜ日本が好きか（日経プレミアシリーズ）
- ・ 斎藤敦子 著：シン・中国人（ちくま新書）
- ・ 中国国家统计局 HP http://www.stats.gov.cn/sj/sjjd/202304/t20230419_1938809.html
- ・ 日経新聞記事（2023年8月2日）「中国 若者雇用悪化続く」